

# 顧客と社員の喜びを力に

近畿刃物工業株式会社

1960年、モノづくりの盛んな大阪・北河内地域で近畿刃物工業は産声を上げた。創業以来、段ボール用刃物に特化した刃物づくりを行う同社は、段ボール加工機械の高精度・高速化に対応し、常に刃物の技術革新に挑んでいる。超硬刃物の製造を短納期・高品質で実現。ユーザーの問題点をもとに考え改善提案を行う。さらなる品質の向上に努力を惜しまず、オーダーメイドでユーザーの要望に応えている。

## ヒトづくりへのこだわり

2000年、阿形清信氏が社長に就任した際、経営者として真っ先に考えたのは「ヒトづくり」の視点で社内全体を見渡すことだった。会社の方向性と社員の意識が同じベクトルになることをなにより重要視した。社内勉強会はもちろん、入社した社員には1人1人のファイルをつくって目標・成果

を定期的に確認し、本人との対話も積極的に行っている。「出来る社員は、誰もが数多くの失敗を自力で乗り越え力をつけてきた」と阿形氏。だからこそ、よりよいモノづくりの実現のために、失敗は重要であり、失敗を乗り越えるためのガンバリは人を成長させるので「しまった」「自信がなくなつた」と思い落ち込ませることなく「力をつけるチャンス

だ」と感じて仕事に邁進出来るように工夫している。

「商品に驚きと感動を込めたもの造りをやるんや！（アットサプライズー同社経営理念）」と社員に激をいれ、社員のものづくりへのこだわりを、思いを、たぎつける。そんな環境が社員の成長へのモチベーションをさらに駆り立てる。

## 質の勝負には限界がない

モノづくりへのこだわりも並大抵のものではない。「いまある工



場に隠すものはない。誰に見られても大丈夫。なぜなら常に新しい模索をつづけているからだ」と、阿形氏の言葉は自信に溢れている。これは顧客第一主義に裏打ちされるものだ。「量の勝負は限界があるが、質の勝負には限界がない。より高性能に、さらなる短納期へ。目指そうと思う限りどこまでも追求できる」

阿形氏の意識は、近畿刃物工業の強みであるニーズに的確に対応しユーザーとともにつくり上げる顧客満足度の高いモノづくりを実現している。

「儲けは二の次。社員が笑って働いて、お客さまの喜びが社員の喜びになるような会社を目指したい。そうすれば必ずと業績はついてくる」

近畿刃物工業の未来は、顧客と社員の笑顔とともにある。

編集部／有吉翔二郎

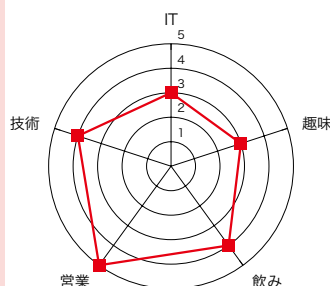


大阪・守口市にある本社工場。



眩い光を放つ切れ味鋭い超硬刃物。

## 経営者データ



近畿刃物工業株式会社  
代表取締役社長 阿形清信

## 経営者 Profile

現在、守口門真商工会議所議員、守口市工業活性化推進協議会委員、西日本紙器機械工業協同組合理事、NPO法人北河内エコエナジー理事、生産技術研究会幹事、に着任し様々な活動にも積極的に参加する。

人との繋がりを求め、バイタリティー溢れる活動を行っている。

- 趣味 旅行・映画
- 座右の銘 「やればできる、必ずできる！」
- 尊敬する人物 井深大

## Company Profile

近畿刃物工業株式会社

所在地：大阪府守口市大日町3丁目33番地12号

TEL:06-6901-1221 FAX:06-6905-9713

担当者：代表取締役 阿形清信

事業内容：刃物製造

エミダス会社・工場詳細情報：

<http://www.nc-net.or.jp/emidas/gaiyou.php?74871>

※「エミダス工場検索」のキーワード検索「近畿刃物工業」

で検索できます。

(写真／今 祥雄)